



NIPPON BEARING

10月21日付 日本経済新聞広告 解答と解説

【問題】 世界中のIoTでインターネットにつながるモノの数は？

- ① 1億台 ② 80億台 ③ 400億台

【答え】 ③400億台

【解説】

Internet of Things、モノのインターネットと言われているIoT。

世界のIoTデバイスの数は、毎年右肩上がりが増え続けており、現在では大よそ400億台にも及んでいます。

2020年現在の日本の人口は約1億2500万人、世界の人口が約78億人であることを鑑みると、相当な数です。

実際、2015年時点でのIoTデバイス数は、約205億台でしたので、僅か5年で倍に増加したことになります。

数十年前までは、インターネットに接続される機器と言えばコンピューターが主流でした。

その後、個人がPCを持つようになり、更にスマートフォンの普及により誰もがインターネットに接続される機器を保有する時代を迎えます。

インターネットを利用することが日常となり、様々な便利や安全を求める中で、あらゆるモノがネットワークでつながるIoTデバイスが急激に普及してきたのでしょう。

家電・自動車などの身近なところから、今後は医療や工場などの産業分野まで、あらゆる場面でIoTの恩恵を受ける時代が到来します。

固定概念を拭い去ることで、新しい分野でのIoTの利用も益々発展していくかも知れません。

【企画・協力：(株)学研エデュケーショナル】